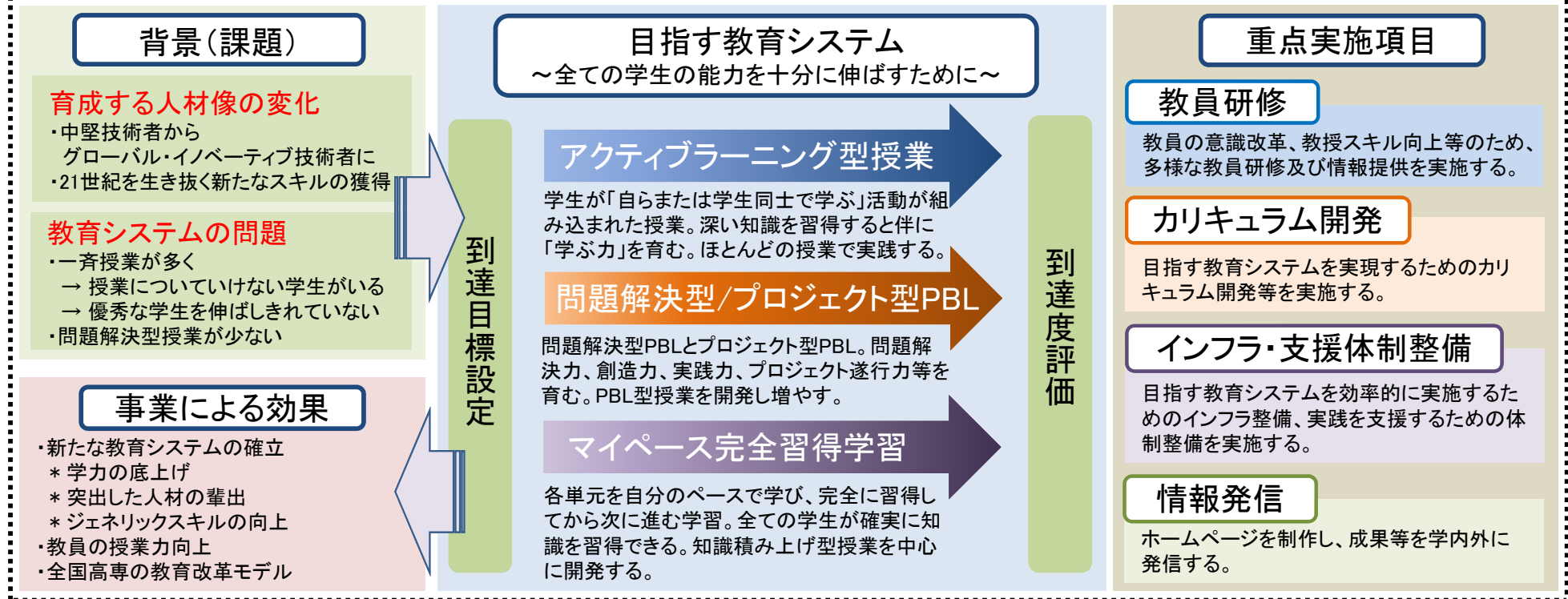


大学等名：仙台高等専門学校

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）

本取組では、教育システムを抜本的に改変し、次世代型の教育システムを構築・実践する。目指す教育システムは「全ての学生の能力を十分に伸ばす」ことを念頭に置いた、(A)アクティブラーニング型授業、(B)2種類のPBL、(C)マイペース完全習得学習から構成される。これを実現するために、教員の教育能力開発、カリキュラム開発、インフラ・支援体制整備等を重点的に実施する。これにより、深い専門知識を有し、21世紀を生き抜くスキルを持った人材、並びに、新しい分野を切り開く有益な人材の育成を目指す。



【事業の成果】	26年度 (実績値)	28年度 (実績値)	31年度 (目標値)
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	95.5%	100%	100%
アクティブ・ラーニングを導入した授業科目の割合	37.8%	80.3%	96%
アクティブ・ラーニングを行う専任教員の割合	62.7%	96.8%	96%

今までの学校改革がどのように加速されるのか

K-Skill、及び、モデルコアカリキュラムを活用した新たな教育システムの構築を加速する。

学校全体にどのような影響があるのか

学生の学力・ジェネリックスキル向上、教員の授業力向上、さらに、全国高専の教育改革モデルとなる。